

## 「金権腐敗政治根絶のため、企業・団体献金の全面禁止を求める意見書」は質疑・反対討論もなく否決される

通常国会で、自民党・公明党が提出・可決した「政治資金規正法の改正」は、企業・団体献金の全面禁止は盛り込まれていません。鴻巣市議会として金権腐敗政治根絶のため、企業・団体献金の全面禁止を求める意見書を国に出すことを求め提案しました。意見書に対しての質疑も反対討論もなく否決しました。賛成者は(竹田えつ子・すわみつえ・西尾綾子各議員)の3人でした。

## 補正予算(第2号)に計上された試行的に始める「子ども誰でも通園制度」には反対

未就園児預かり保育の本格実施に向けて埼玉県内では、さいたま市・行田市・志木市・鴻巣市の4市が試行事業として今年度より始めます。本市では、川里ひまわり保育園・生出塚保育園・にこにこ保育園が実施します。

子ども誰でも通園制度は、登録した方が直接保育園に利用予約をします。1時間単位で月10時間まで利用できます。現場の保育士さ

んからは「人手不足」と「保育士の処遇改善が実現されないまま新たな負担だけが増えること」「安全面の管理」などで不安視する声が大変多く出ています。

子どもの安全が保てるのか危惧される事業が含まれた補正予算であることを指摘し、反対討論をしました。

## 埼玉県の事業「川面調節池」についての説明を受けて

武藏水路と国道17号・17号バイパス・新幹線線路に囲まれた川面地域に、面積37ヘクタール深さ2メートル、容積40万m<sup>3</sup>の巨大な調節池建設の事業が埼玉県で計画されています。埼玉北本県土事務所の説明では、元荒川下流域で洪水が溢れないよう、洪水の一部を一時的に貯めて、下流の氾濫を防ぐためとのことです。

なぜこの計画が出てきたのか、元荒川か

ら武藏水路への取り込み量が変更になったためとのこと。

草が繁茂したり安全面の管理やその維持費は鴻巣市が負担するのか。景観が大きく変わったり、田んぼが雨水を貯めるダムの役割をしているが、そのダムがなくなつて周辺に影響はないかなどの課題があると考えます。今後、いろいろな角度から調査し取組みます。

## 法律・生活相談

生活相談はいつでもどうぞ。法律相談は毎月第4金曜日13:30~15:00日本共産党鴻巣市委員会事務所  
法律相談の場合あらかじめ予約をお願いします。問い合わせは竹田えつ子・すわみつえ

# こうのす民報

## 議会報告版

2024年7月号 第443号

★政務活動費で議会報告を作成しています。

(1)  
日本共産党鴻巣市委員会の見解を紹介します。

日本共産党鴻巣市議団  
鴻巣市天神5-5-15

竹田えつ子 すわみつえ  
☎542-7072 FAX542-7101  
☎507-4151 FAX596-9440

## 6月議会は17件の議案を審議し閉会

6月4日から21日間の会期で開かれた鴻巣市議会6月定例会は、24日に閉会しました。議会最終日に執行部より補正予算など2件の追加議案が出されました。日本共産党は、15件の議案には賛成、2件には反対しました。

また、「いじめ重大事態についての再調査を求める請願書」(請願人、秋池博史氏)が提出され、1,358筆の署名が付されていましたが、賛成少数(竹田えつ子・すわみつえ・西尾綾子各議員)で不採択となりました。「金権腐敗政治根絶のため、企業・団体献金の全面禁止を求める意見書」を日本共産党が議員提出議案として提出しました。

### 市民の請願書・1,358名の賛同署名

#### 「いじめ重大事態についての再調査を求める請願書」不採択となる

市民の請願権による、「いじめ重大事態の再調査を求める請願書」の要旨は、「2019年に鴻巣市内の中学校で発生したいじめ重大事態について、鴻巣市教育委員会はいじめ問題調査委員会を設置し調査を行ったが、調査方法、調査体制、調査内容および報告書の取扱いに多数の不備ならびに文部科学省のガイドライン・本市の例規違反が認められた。そのため鴻巣市による再調査と調査報告書の再作成、ならびに調査報告書をいじめ被害者の意向に沿って公開することを求める」です。

紹介議員は西尾綾子市議(社民党)とすわみつえ市議(日本共産党)で、1,358名の賛同署名も併せて提出しました。

#### 6月12日開催の政策総務常任委員会は賛成少数のため不採択

反対:中西耕二郎委員・金澤孝太郎委員・茂利博之委員  
賛成:竹田えつ子委員  
市ノ川徳宏委員は委員長のため採決に加わらず

#### 賛成討論

「多くの賛同署名があり大変重いものがある。請願の重大性と行政本来の姿勢、被害者が市長に再調査を求めたが、再調査が行われなかつたことは、被害者と保護者に背を向けるもの。議会は市民の声を届け、市政のチェックをする重要な役割があることから請願に賛成する」と竹田えつ子市議(日本共産党)が賛成討論をしました。

#### 反対討論

「安易に再調査を行うことで、いじめ問題調査委員会の信頼性が損なわれる危険性がある」「2年あまりかけて係争中であり、再調査は子どもたちに精神的負担を与える」と反対討論がありました。

#### 6月24日・本会議においても不採択

文科省ガイドラインに沿わない(被害者に意向確認行わない)、また、鴻巣市の例規集に違反する(議事録を破棄)などがあり、調査報告書そのものの信頼性が損なわれているために、再調査を求める請願書ですが鴻巣市議会は不採択としました。



竹田えつ子議員

## 鴻巣駅東口に1日も早くエレベーター設置を 民間保育士の待遇改善を

### 駅エレベーターをつなぐ 自由通路の安全点検は

**(問)**自由通路の安全点検を行うに至った経緯は。

**(答)**県内外において、駅舎や自由通路の鉄道施設でコンクリート片などが落下する事案が出ており、エレベーターを繋ぐ自由通路の安全性を確認することが最優先との結論に至りました。

**(問)**自由通路の点検業務委託はいつ行うのか、点検内容は。

**(答)**点検内容は、屋根・柱・壁・床・階段の損傷や劣化状況などです。業務委託や締結の時期については、JR東日本高崎支社と協議中です。

**(問)**基本設計業務委託の結果報告書ではエレベーターを繋ぐデッキは、幅2m、長さ5mとなっています。エレベーター設置の見通しと今後の計画は。

**(答)**自由通路の総点検は、今年度末の完了を予定しており、業務完了後に点検結果を踏まえ、エレベーター設置に向けた実施設計業務委託を行い、その後エレベーターの整備に取り組む予定です。

### 民間保育士の待遇改善を

**(問)**民間保育士の給与が一般と比較して9万円も低いことが大問題となって久しくなります。国の配置基準で公定価格にもとづき給与は支給されますので、手厚く保育士を配置している保育所ではいっそう、1人当たりの保育士の手取りは

少なくなります。市単独で行っていた1人当たりの待遇改善費5000円を、昨年度から半額にしてしまいました。元に戻すとともに充実させることは。

**(答)**公定価格による待遇改善は、2013年度以降年々増加しており、2012年と比較して23%、月額7万5000円改善されています。公定価格による改善が図られているため、待遇改善の見直しは考えていません。

**(問)**国が示す公定価格では、所長(勤続24年)508万円、主任(勤続21年)485万円、保育士(勤続8年)416万円となっています。同じ条件で公立保育所の場合はどうか。

**(答)**所長690万円、主任639万円、保育士458万円です。

### 3歳以上児の給食費の無償化、 0歳から2歳児までの保育料の無償化を

**(問)**3歳以上児の給食費の無償化、0歳から2歳児までの保育料の無償化にした場合の試算額は。

**(答)**給食費の無償化については、保育園によって月額5500円から7500円までがありますが、公立保育所の給食費5500円に4月1日の入所数を乗じた場合、7500万円です。0歳から2歳児までの保育料を無償化にした場合2億4000万円との試算結果です。

これからも、みんなの声を届け、暮らし・福祉をよくする為に頑張っていきます。

### 一般質問



すわみつえ議員

## 川里地域小中一貫教育校整備について コミュニティバスの土曜日運行を平日並みに

### 小中一貫校の「基本構想・基本計画」は 建物の説明ばかり

鴻巣市教育委員会は「川里地域小中一貫教育校の整備に関する基本構想・基本計画」(以下、基本構想・基本計画)を2024年3月に策定し公表しました。

全編62ページで編集された「基本構想・基本計画」は学校建設の工事と建物の説明が58ページ。「教育内容」はわずか4ページ。これでは小中一貫教育への理解は得られないと思います。

市はアンケートやワークショップ、意見交換会などで意見をいただき「基本構想・基本計画」を策定している。これを基に意見交換会で改めて意見を聞くと答弁しました。

### 小中一貫校に反対の意見をどうする

地域の中には建設工事費102億円と計画されている小中一貫校を知らない方や、統廃合に反対の方も多くいらっしゃいます。未就学児の保護者の方などは「説明会や意見交換会をオンラインでもらえたなら、参加し易い。自分ごととしてとらえていきたい」と意見が出ています。民主主義の原則は「多数決の原理、少数意見の尊重」です。反対の意見を分析すべきでは。

市は、先進自治体への視察や意見交換会など

で研究分析を行っている。今後もより多くの方に理解いただけるよう取組を進めると答弁しました。

### コミュニティバス・フラワー号の 土曜日減便を元に戻してほしい

本年4月1日から、フラワー号の運行を平日運行と同じであった土曜日運行を日曜日運行並みに減便しました。土曜日登校もある高校生や通勤の方から「困った」と声がでています。市は、減便の理由として、運転士不足に加え、2024年4月1日から時間外労働の規制が行われるため運行ダイヤの維持が難しいと答弁しました。

現在の運行ダイヤは5年間も続きます。代替案か元に戻すことの考えを問いましたが、「考えはない」との答弁です。

交通・移動の権利が保障され、活用できる環境が整えられることが必要です。

引き続き、取り組んでまいります。



コミュニティバス・フラワー号

本当がわかる  
明日が見える

しんぶん赤旗

●日刊紙／月3,497円  
●日曜版／月990円

見本紙  
お届けします

裏金疑惑、政治、社会保障、経済  
…「本当のことが知りたい」  
その思いにこたえる新聞です。  
暮らしに役立つ情報も満載です。